

# 05 施肥と薬剤散布

## (1) 施肥

美しい花を咲かせるためには、適切に肥料を与えることが必要です。病気に対しても強くなります。

※両手一杯程度 = 概ね200g

### 庭植え

12月又は1月	寒肥の時期です。有機質の肥料を両手一杯程度与えましょう。この時期は、ばらは休眠状態でほとんど活動しておらず、活動期に入る前に肥料を与えておくとう生育が良くなります。
3月	春の開花に備えて追肥を片手一握り程度与えましょう。(化成肥料又は液肥)
6月	花が咲いた後、「咲いてくれてありがとう。」と感謝の気持ちで施肥肥料のことをお礼肥と呼びます。咲いた後は、体力を消耗するので有機質の肥料を寒肥の半分程度を与え回復させてください。
7月	秋の開花に備えて有機質の肥料を寒肥の半分程度与えましょう。
11月	お礼肥を与え、次のシーズンに備えましょう。窒素分の少ない化成肥料(片手一握り程度)を与えると冬に向けて樹が固まり、枝が更に充実します。

### 鉢植え

5月中旬～11月下旬は1～2週間に1回液肥を施します。(5月、10月の開花期は与えない。)

**ポイント!** 栄養は根の先から吸収されます。肥料は、株元から30cm～40cm離して与えましょう。

## (2) 病害虫防除

美しい花を咲かせるためには、病気や害虫に気を付けなければなりません。

基本的には、害虫の駆除は殺虫剤、病気の予防は殺菌剤を使用します。ホームセンターなどで市販されているもので十分ですが、同じ薬剤を使い続けると病害虫に抵抗力をつけてしまいます。2～3種類の薬剤を使い分けましょう。薬剤は次の点に注意しながら使用してください。

- ◎ 薬剤は子どもの手の届かない所で保管する。
- ◎ 付近の迷惑にならないよう配慮する。(風の強い日は控えるなど)
- ◎ 説明書の注意書きを守る。(ゴム手袋・マスクを着用するなど)
- ◎ 記されている希釈倍数を守る。(濃度を濃くしたから効果が上がるわけではなく、むしろ悪影響が出る恐れがあります。)

**ポイント!** 病害虫対策は予防が一番。害虫は見つけ次第捕殺しましょう。虫や病気が葉の裏に発生しやすいので、薬剤の散布は葉裏を重点的に。

## Rose ばらの育て方カレンダー Calendar

項目	月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
生育状態	一季咲き	生育活動の低下(休眠)			生育活動の開始・生長(芽吹き)		開花		生長				
	四季咲き	生育活動の低下(休眠)			生育活動の開始・生長(芽吹き)		開花・生長 一番花 / 二番花 / 三番花		生長		開花 四番花		
剪定及び誘引	木立ち性種	春の剪定		芽かき 台芽取り 切り戻し		シュートの処理		秋の弱い剪定					
	半つる性種 <small>四季咲き</small>	冬の剪定 <small>(強剪定する場合のみ)</small>		芽かきはオールドローズ 原種には必要なし		シュートの支柱誘引 フェンス、アーチなどに誘引する場合のみ							
	半つる性種 <small>一季咲き</small>	全ての枝の先端を切り戻す。昨年支柱にしばった枝を誘引し直す。				シュートの支柱誘引 シュートをまっすぐに伸ばす。 防風対策							
	つる性種												
植え付け	大苗の植え付け			新苗の 植え付け						大苗の植え付け			
施肥	寒肥		追肥		お礼肥 <small>一番花が咲き終わる頃</small>		追肥				お礼肥		
水やり	地植え	乾燥した日が続いた時		1週間に1回		3日に1回				乾燥した日が続いた時			
	鉢植え	鉢土が乾燥してきたとき		表土が乾燥したとき		毎朝 1回		毎朝1回たっぷり		毎朝 1回			
病害虫防除	害虫の発生			害虫がよく発生する時期 ヨトウムシ・イラガ・ダニなど						害虫がよく発生する時期			
	病気の発生			病気がよく発生する時期 黒星病・ウドンコ病・ペト病など						病気がよく発生する時期			
	薬剤散布			病害虫に対する定期散布 特に雨の多い月はまめに薬剤散布									
マルチング	マルチング 凍害の防止など				マルチング 乾燥・雑草の繁殖防止								
中耕・除草	中耕・元肥のすき込み				中耕と除草 固くなった地表と肥料のすき込みなど								



# 美しいばらの育て方



～初めてふくやまと名が付いたばら～ ローズふくやま

「花は美しい、それを愛し育てる人の心はなお美しい」  
ばらのまちづくり

## みんなで盛り上げよう! 第20回世界バラ会議福山大会2025

### ばらのまち福山の歴史

福山市は1945年の大空襲で市街地の約8割を焼失しました。1950年代半ば、現在のばら公園に、付近の住民が「戦災で荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう」と、ばら苗約1,000本を植え付け、熱心に世話を続けて美しいばらの花を咲かせました。こうした住民の熱意は多くの人々の共感呼び、ばらづくりの輪が市内全域へ広がっていきました。その後、「めざそう! 100万本のばらのまち福山」を合言葉として、市民と行政が一体となった協働によるばらのまちづくりが進められ、市制施行100周年にあたる2016年の5月21日「ばらの日」に念願の「100万本のばらのまち」を達成しました。現在は2015年9月に制定された「福山市ばらのまち条例」をもとに、ばらのまちづくりを通じて今日まで育んできたローズマインド(思いやり・優しさ・助け合いの心)を福山の文化として受け継ぎ、世界に誇れる「ばらのまち福山」の実現をめざして、市民みんなでばらのまちづくりに取り組んでいます。2018年には、これまでの60年以上に渡る取組が世界に認められ、2024年5月に福山市での「第20回世界バラ会議福山大会」の開催が決定しました。この大会を契機に、福山のブランド力向上や市民が主役のばらのまちづくりの更なる発展をめざします。

発行 福山市市民局まちづくり推進部世界バラ会議推進室  
〒720-8501 福山市東桜町3番5号(本庁舎8階)  
電話 (084) 928-1210  
e-mail : world-rose-convention@city.fukuyama.hiroshima.jp  
監修 福山明るいまちづくり協議会 ばら普及員

美しいばらを育てるには

- ① せん定 ② 施肥 ③ 適切な薬剤散布 ④ 適度な水やり

が重要とされていますが、何よりも愛情をもってばらに接することが大切です。

### 01 はじめに

ばらは、「原種」「オールドローズ」「モダンローズ」の3つに大きく分けられ、また、「つる性」か「非つる性」か、「一季咲き」か「四季咲き」かに細かく分類されています。ここでは、モダンローズ四季咲き大輪種ハイブリッドティー（HT）を美しく咲かせるための方法について説明します。

### 02 ばらの主な種類

ハイブリッドティー（HT）は、樹高1～1.7mきりつと上を向いた大輪の花が咲くことが特徴で、市内の多くのところで目にする事ができる種類のばらです。市のばら『ローズふくやま』も、この種類です。このほか、代表的なばらの種類として、樹高が1m前後とコンパクトなフロリバンダ（FL）と呼ばれるもの（四季咲き中輪房咲き）やいろいろな仕立てが楽しめる枝の長さが2m以上になるつるばら類クライミング（CL）、小さな可愛い花を次々と咲かせる四季咲き小輪房咲きのミニチュア（Min）などがあります。

### 03 ばらの植えつけ

日当たりと風通しの良い場所を選ぶことが重要！

#### (1) 植え付け、植え替え時期

「新苗」は 4月～5月

「大苗」は 11月～2月

#### 「庭植え」の場合

日当たりのよい場所に有機質の肥料（骨粉入り油かす等）を施して植えましょう。

#### 「鉢植え」の場合

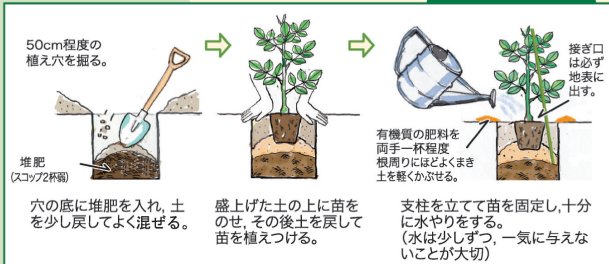
ミニばらは6号程度、中～大輪は8号以上の深鉢に根や接ぎ木部を傷めないように注意しながら、接ぎ口が地表に出る程度に植えつけましょう。

#### ポイント！

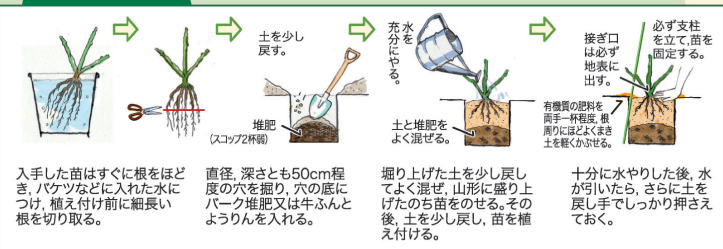
「新苗」とは、その年に接ぎ木したもので、「大苗」とは、「新苗」を秋まで育てたもの。植え方が異なるので、苗を入手した際には、必ず確認しましょう。また、植え付けたときは、花の名前がわかるよう名札をつけましょう。

1本につき0.8～1m間隔を目安に植え付けましょう。

#### 新苗の植え方



#### 大苗の植え方



#### 大苗の鉢植え



#### (2) 摘蕾（てきらい）・花がらせん定

※「摘蕾」とは、つぼみや芽を摘み取る作業の事で「ピンチ」とも言います。

「新苗」 新苗は植えつけのときに、つぼみを摘み取り、その後も、次々にでてくるつぼみは、摘み取りましょう。この作業は8月いっぱいまで続け、花は秋に咲かせましょう。

「大苗」 大苗には摘蕾作業の必要はありませんが、花が終わったら早めに5枚葉を1枚つけて切り取りましょう。また、すでに植えてあるばらも同様のせん定をしましょう。

**ポイント！** 新苗は幼く、つぼみがついたら思い切って摘み取りましょう。花がもったいないという気持ちに勝ち、ばらの樹の充実（根の発育を促す）が賢明です。今後の生育に大きな差がでます。

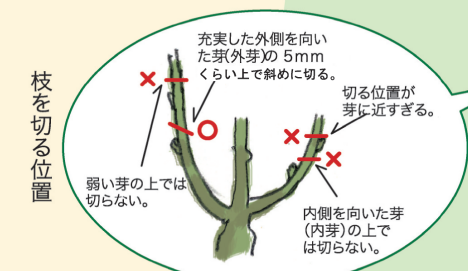
### 04 せん定

春（2月下旬）と秋（8月下旬～9月上旬）には、必ずせん定をしましょう。ばらは、新しく伸びた幹に良い花が咲きます。古い幹や枯枝を切ることで、新しい幹や枝の充実を図ることができ、また、混み合った枝を切ることで風通しや採光が良くなり、病害虫の予防にもなります。



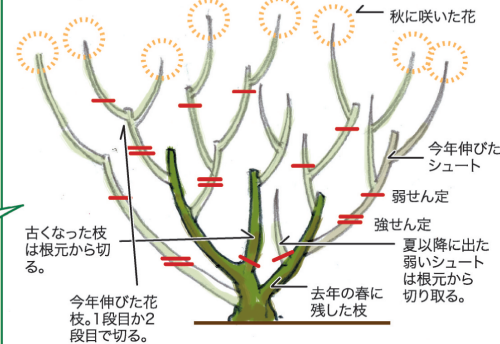
#### (1) 春のせん定

枝の整理や樹高の調整を行うことによって、春の花の数を制限し、美しい花を咲かせるために行います。もし、このせん定を行わないと、昨年伸びた細い枝の先端から細い芽が何本も伸びて、病気にかかりやすい細い枝になり、美しい花も咲かないので注意。



#### HTの春のせん定

全体の2/3程度切り詰める。



※「シュート」とは株元や幹の下から勢いよく出て来た新しい太枝のことで、将来花を咲かせる枝となります。

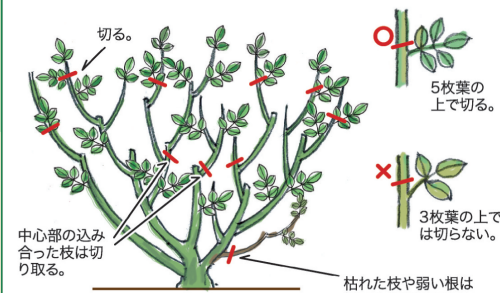
#### (2) 秋のせん定

夏の終わりとともに、開花後の花がらせん定を行ってもあまり美しい花が咲かなくなるのは、気温が高く芽の伸張が早いために短期間で花が咲くことや、枝葉が多くなって栄養分がそれぞれの枝に分散することが原因です。美しい花が咲く適温は18℃ぐらいで、しかも芽の伸長期が長期間30℃を越えないことが理想です。

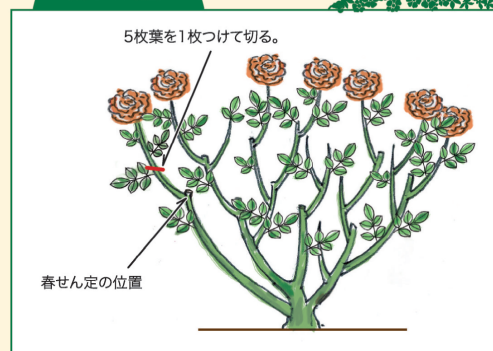
せん定後、45日～50日ぐらいで開花するので、8月下旬～9月上旬にせん定をしましょう。このとき、細い枝、枯れた枝、枝の内側に向かって伸びている枝をつけ根から切り取るのがコツです。

#### HTの秋のせん定

全体の1/3程度切り詰める。



#### 花がら切り



**ポイント！** 葉は、光合成を行う大切な役割を担っています。病気等で葉がない場合は、秋せん定をせず花摘みを繰り返しましょう。

#### (3) 花がら切り

開花済みの花は、早めに5枚葉を1枚つけて切り取りましょう。

